



徳本行者修行の地、岩室山より市内を臨む

徳本行者を訪ねて ～民衆の中に生きた念仏行者～

徳本行者 Q&A

Q 徳本行者って何をした人なの？

A 江戸時代に厳しい修行をしながら、わかりやすい説法で多くの人に浄土宗を広めた人だよ。

Q 有田市と何かゆかりはあるの？

A 徳本行者は1758年に現在の日高町に生まれて、27歳の時に出家したんだ。その後修行の旅に出るんだけど、途中、有田に立ち寄って、そこから7年間、有田の地で修行したんだよ。

Q 7年も？ どうして有田にとどまったんだろう？

A 徳本行者が修行したのは、宮原町須谷にある岩室山なんだけど、そこは中世に戦場となった場所で、多くの人が亡くなったそうなんだ。死者への供養の意味もあって、岩室山を修行の地に選んだと考えられているよ。それと、岩室山の山頂にある崖が、とても閑散としていて、修行の地にふさわしいと考えたようだよ。

Q そんな寂しいところまで暮らせたの？

A 須谷村の農夫の栄助が、水や食事を届

けるなど身まわりの世話をしていったんだ。そして徳本行者が修行していることが徐々に知れ渡るようになって、岩室山の麓に多くの人が集まるようになったよ。

Q たくさんの方が徳本行者を慕っていたんだね。

A 徳本行者の説法は道歌（道徳的・教訓的な短歌）や俗語を交えて、とても理解しやすいものだったから、多くの人がから支持を受けたんだよ。

Q 有田での修行を終えた後はどうしたの？

A 再び旅に出て、遠くは長野や千葉など驚くほど広い範囲で行脚をしたそうだよ。徳本行者が訪れた所には足跡を物語る石碑が建てられ、全国で1,000基以上あるんだ。

その石碑には「南無阿弥陀仏」と徳本行者の字が彫られていて、その独特の文字は縁起が良いとされ、「徳本文字」と呼ばれているんだ。
文字が徳本行者の人となりあらわしているような気がするね。



徳本名号（西法寺所蔵）
「南無阿弥陀仏」
丸みを帯びて、終筆がはねあがった独特の文字。

※名号：仏・菩薩の名前。
唱えることで功德があると信じられている。

庶民の苦楽に寄り添う 心のお医者さん

徳本行者を慕っていた吉田秋久により開基された西法寺（宮原町新町）。中隆英住職にお話を伺いました。

徳本行者は、多くの人に慕われた僧侶でした。でも、あまり知名度は高くないですよ。たとえば明恵上人は武士の出身で、仏教を学問の面からも追求して書物も残されています。後世になっても文献をひもとく人が多く、和歌とともに一般的に知られているんですね。

一方、徳本行者は農家の出身で、伝わっているものは弟子が記録した説法と名号が多いです。行者は仏教を学問として学び伝えるのではなく、庶民の暮らしをみつめ、彼らの悩みや喜びに寄り添った僧侶だったのではないのでしょうか。

だから説法を通じて、明日を生きる希望を与えてくれる、庶民にとって、いわば心のお医者さんのような僧だったのではないかと思います。

がんばり続けるのはしんどい時もありますよね。徳本行者はそこで「ひと休みして。なんとかなるよ」と言ってくれる存在だったのじゃないでしょうか。

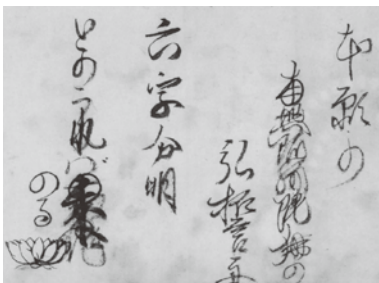


徳本行者にまつわる 西法寺の所蔵品



徳本上人坐像

目がやさしく、誰からも慕われるやさしい顔つきが特徴的。



徳本直筆置文

徳本直筆の手紙。岩室山にいたときの手紙が今も残されている。



名牒不離尊像

南無阿弥陀仏の文字で表された阿弥陀如来。唱える名号が阿弥陀如来になるという徳本の教えを表したもの。

わが家に徳本さんが？

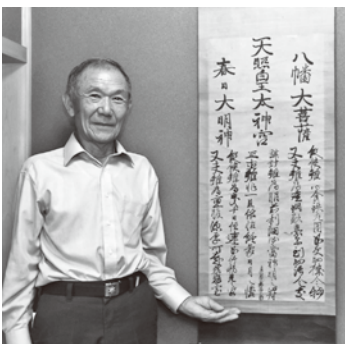
徳本行者が修行した岩室山の麓、宮原町須谷に住む藤岡睦夫さんにお話を伺いました。

5、6年前に徳本さんに興味をもち、調べの中で、地元の歴史に詳しい方から、徳本さんが須谷の家を数軒訪ねられたという言い伝えを聞きました。その一軒がなんと、うちの家だったということです。

また、父から「大切にせよ」と言われ、いつも正月に飾っていた掛け軸が徳本さん直筆のものだと分かり、驚きました。

調べていくと、徳本さんは信念が強く、人に優しい偉大な人だったことがうかがえます。

これからは、徳本さんのことを後世の人に伝えていきたいですね。



藤岡家に伝わる
徳本直筆「三社託宣」

多くの地を訪れ、その地で多くの人々に慕われた徳本さん。全国各地へ脚を運び、貴賤・老若男女を問わず、手をさしのべる徳本さんは、有田と深い縁のある偉人だったのです。

特別展 念仏行者徳本 ～200回忌記念～

紀中に伝わる徳本行者の資料を一同に集め、徳本行者の紀伊国での実像に迫る、特別展を開催します。

期間 10月14日（土）～12月10日（日）

開館時間 9時30分～17時

※入館は16時30分まで

場所 郷土資料館（文化福祉センター4階）

※休館日 水曜日

■記念講演

① 10月15日（日） 13時30分～

「紀伊国での徳本の足跡」

正覚寺住職 塩路善澄氏

② 10月21日（土） 13時30分～

「徳本上人絵伝の絵解き」

誕生院住職 畠山澄男氏

③ 11月11日（土） 13時30分～

「女性救済と徳本」

西宮市立郷土資料館 俵谷和子氏

④ 11月18日（土） 13時30分～

「仏教史の中の徳本」

前郷土資料館館長 寺西貞弘氏

⑤ 11月25日（土） 13時30分～

「有田の徳本行者」

郷土資料館学芸員 木谷智史

場所 ①③④ 文化福祉センター3階

②⑤ 郷土資料館

問 郷土資料館 TEL 82-3221